



(有)エーワンセキュリティサービスにて

座談会

# 代表理事に就任して

【出席】

代表理事 **有吉 徳洋氏**

(有)エーワンセキュリティサービス／代表取締役  
(高松第8支部)

【司会】

広報・情報化委員会委員長 **渡辺 康平氏**

photo. DTP. Movie.yasuhira / 代表  
(高松第8支部)

就任の思いと抱負

**司会** まず、就任の想いと抱負についてお聞きします。代表理事に就任された率直な思いをお聞かせください。

**有吉** それはもう、相当プレッシャーを感じています。総会でもお話ししましたが、いろいろなことがここ2〜3年の間にありました。

昨年ぐらいから改めて同友会との向き合い方を見つめ直した結果、自分自身が実践し続ける姿を見て、歩みを重ねたくなる会社になければ、何のために長い間、同友会活動をしていたのかがわからないうという思いがありました。どこか本気になりきれていない自分に気付いていましたが、代表理事のお話をいただいた時は、まさに、ここが正念場であり、自分にとっての最後のチャンスだと決心した矢先のことでした。

受けるかどうか迷った一番の理由は、こんな自分ではない

のかという自問です。しかし、林さんも小西さんも、おそろしくいろいろと考え、悩んで悩んで悩んだ上での声かけだったと思いますので、その思いを真摯に受け止め、期待に応えられるようにしなければと思います。

就任にあたり、会社を更によくすることが第一の条件でしたので、プレッシャーは大きいのですが、やりがいがあるといえますか、自分の経営者人生の中で最後のチャンスをおいただいたような気がしました。ご期待に応えるべく、肅々とやっていかなければならないと強く自分自身に言い聞かせております。

**司会** 自社をよりよくしていくという強い意思を感じました。加えて、会に対する思いについてもお聞かせください。

**有吉** 会として果たすべきことはすでに定まっているので、会員としてふさわしい在り方を、まずは自社のしつかりとし

た姿を、どう見せるかが大前提だと私は思っています。それがないと副代表理事であろうが、代表理事であろうが、会員から見るときに、何でこの人なのか？ということになるはずですから、まずは同友会理念等の体現者になれるようにすることが第一です。

現在、また一から本気で労使見解をベースにした経営をやっつけていこうと志しています。そのためにどうするかを日々真剣に考えているところです。なので、同友会のための前段階として、まずは自身の自社経営を通じて皆さんに見ていただき、ベンチマークになるような企業にならないければというのが本音です。

### 同友会との関わりと学び

**司会** 有吉さんは、これまで同友会活動にどんな形で関わってこられましたか？

**有吉** 振り返ってみると、かなり長い会歴があります。最

初に支部長を、次に組織委員長を。その後、社員教育委員長を拝命し、同友会のご真ん中で活動をしていたので、その間、会内での困りごとや課題解決等に対して積極的に取り組んできたという多少の自負はあります。ただその成果を自分でどう評価すべきなのか、そのあたりは難しいところですね。

**司会** 入会后、様々な活動を続けてこられました。その間に、一番意識が変わったのはどのあたりからですか？ご自身で自覚のようなものがありますか。

**有吉** あります。断言できません。県の経営指針を創る会（以下、創る会）です。そこで間違いなく変わりました。創る会に参加したからこそ、自社の経営理念が確立できましたし、それに勝るものはありません。最大の転機です。経営理念は羅針盤ともいえ、一つの判断基準になるものです。

はつきり言えるのは、それまでの行きあたりばったりだった経営から自分が進むべき道、今、ちゃんと進めているかどうかは別にして、進みたいという方向が目の前に見えたことは、ラッキーということかそれはもう想像を超えるものがありました。私自身の人生

観が入った理念ができたのは、創る会に入ったからです。それからもう一つの変革の転機は、社員教育委員会に入って、「労使見解」の実践を学ぶことです。同友会での学びは、学んだ後に時を置かずに効果が現れるものではないんです。ただ、その学びを長く実践しているとじわじわと染みてくるわけです。それが同

友会の学びだと感じています。これは私の正直な思いですが、「労使見解」の学びは掘り下げれば掘り下げるほど、そこから抜け出せなくなるんです。人を大切にしないとかが、雇用を切るとかが、できなくなってしまう。もちろん、それを目指してやっているの、当然といえば当然かもしれませんが、いい意味でのストッパーになります。ですから、いかに経



有吉徳洋氏

営が厳しくとも社員は切らな  
いという強い思いが揺らぐこ  
とはありません。「労使見解」  
の学びが自分の中にきちんと  
落とし込まれているのは、創  
る会があり、そこから社員教  
育委員会に入ったからこそで  
す。実践できているか日々自  
問しておりますが、学んだこ  
とが知識として私自身の中  
に入ったことが、大きな財産に  
なっているような気がします。

#### 同友会の魅力

**司会** お話が少し重複するか  
もしれませんが、同友会の魅  
力について聞かせてください。

**有吉** いろんな人たちが裸に  
なって、本音で語り合えるこ  
ろですね。厳しい指摘や、逆に  
励ましなど、そういうことをし  
てくれる会は他にはないと思  
います。同友会の目的は、全ての  
仲間たちが地域の中で共に育  
ち、地域を支えるということろ  
なので、私自身もちろんその  
ために成長しなければなりませんし、隣にいるメン  
バーも一緒に育って  
いきましようです  
から、そんな会は  
無いですよ。ね。  
ですから、油断は  
できないし、プレッ  
シャーは常にあります。でもそ  
れはとても居心地のいいプレッ  
シャーなんです。同友会に入  
会していなければ、完全に会社  
は潰れていると思います。

#### 今後のビジョンと取り組み

**司会** 同友会のこれからのビ  
ジョンと具体的な取り組みに  
ついてお聞きします。

**有吉** 現在、香川同友会では  
第8次ビジョンを策定中です。  
5年後の中期的な目標を香川  
同友会全体として考えていま  
す。我々が最終的に目指すこ  
ころは「三つの目的」の、「よい  
経営環境をつくり」、「国民や地  
域と共に歩んでいく経営者団  
体になる」ことなので、そこに  
いくにあたって、やはり自社

がベンチマークにいか  
になれるかが重要だと考えて  
います。

これは私の思いですが、林  
代表理事や小西代表理事をは  
じめ、これまでの代表理事会  
のメンバーを見ると、私の場  
合は会社の規模にしても、歴  
史にしても異質です。明らか  
に違いを感じるものがありま  
す。私が代表理事をすること  
で代表理事としてふさわしい  
会社になっていけるか。まず  
は自分自身がしっかりと同友  
会型経営で目指すべき理想に  
近づき、結果をどれだけ残せ  
るかだと思っています。

**司会** そういう中で、今後特

に力を入れて取り組みたい  
テーマや課題はありますか？

**有吉** 今までの取り組みの中  
でも、特に思い入れが強い  
のは、「労使見解」です。人を生か  
す4委員会の中での話ですが、  
「四国を労使見解の聖地にしよ  
う」という合言葉があります。

四国に来れば安心して働ける  
場所があり、香川県だと安心  
ですよというような、そんな  
場所になりたいと思っています。  
愛媛同友会の故鎌田さんが、  
「地域にとって信頼に足る世の  
中をつくり続けていくことが  
同友会の役割」だと話していま

したが、それは香川から出て行った若い人たちが、香川に帰れば安心して働ける環境がある。労働環境も含めて、人に優しい、人を大切にする会社がある。帰れる場所がある。そういうものをつくるのが先ほどの「信頼に足る世の中をつくり続ける」ことであり、それをするのが我々中小企業家なわけです。そういう企業をたくさんつくりたいです。

大風呂敷を広げるようですが、同友会として地域課題を解決するのに最も適したテーマだと思っっているのです、そのため会社をよりよくし、雇用がきちんとできる、雇用し続けることができる会社になければと思っっています。

### どのように導いていくか

**司会** 同友会に入会した会員を、どのように導いていくかについてお尋ねします。この点についてどう考えていますか。

**有吉** これはあくまでも個人的な考えですが、同友会は基本的に自助努力の会なんですね。入会するのも自由だし、退会も自由です。参加するのも自由だし、不参加も自由ですよ。経営者にとつて自助努力ができるかできないかは非常に大きな課題です。同友会に入った時点で、自助努力をしているメンバー等々、いろんな会員さんと出会うわけですが、そこで自分はどんな経営者になりたいかの判断基準が自分自身で持てるかどうかではないかと受け止めていきます。

要は課題を持つて会議に参加しないと、時間は有限ですし、もつたないですよ。同友会は自分の課題を見つけたら、それを解決する場所でない、あまり意味がないように思います。また、我々が課題を持つて参加し

た人たちから、それを引き出せるかどうか非常に大切なことです。

何度も言いますが、同友会は自助努力の会なので、同友会が何かをしてくれると思っっている間は、正直言つて影響を受けることも、自身や自社が変わることも少ないと思います。自分自身で何かをやるうとなつたときに、同友会をどう使うか。そんなマインドで参加しないと、本当の意味での同友会入会の意味はないと思っっています。

私自身、最初はお客さんを増やしたいとか、売り上げをあげたいという考えがありました。でも、創る会に

入ったときに、この会はそういうところではないことを学びました。その意味でも創る会に入った自分はラッキーだつたと思っます。ですから、多くの人が同友会の本質を理解した上で、会活動をしていただくことが非常に大事になつてきます。入口が一番大切なので、そのあたりを理解し納得してから入会していただくのが、私はお互いにwin-winかなと思っっています。



渡辺康平氏



### 地域経済の発展に向けて

**司会** 続いて地域経済の発展

に向け、同友会として役割を果たしていきたくと考えますか。

**有吉** 地域から期待されている役割の中でも、雇用を守ることは我々中小企業家の使命です。雇用を守るためには、理想の会社像、理想の経営者像を描き、同友会らしい企業づくりで、きちんと利益を出すことが大切です。

その為に、課題をもって例会に参加し、学んだことを実践する、このサイクルが重要です。

そして、仲間同士で実践した結果を本気本音で話し合うことが、同友会らしい仲間づくりとなります。

**司会** 仲間づくりについては、なかなか難しいところがあるように感じますが？

**有吉** 自分の子供の将来を考えた時、できれば「人を大切にできる会社」に就職させたいと思っています。少なくとも同友会の仲間は「人を大切にできる会社」を目指す企業だと思います。一社でも多くの会社と同友会の仲間となれば、多くの子供たちとその親御さんを幸せにできる可能性があります。香川の未来を自分たちが創ることができるとってワクワクしかないと思います。

現に香川同友会は、県下の教育機関から見ても、なくてはならない存在になりつつあります。この地域の子供たちからの期待を裏切るわけにはいきませんよね。だから、香川県内に一社でも多く「人を大切に

にする会社」を早急に増やす必要があると考えています。

### 「青年経営者全国交流会 in 香川（以下、青全交）」について

**司会** 青全交の開催について、有吉さんはどのように受け止めていますか？

**有吉** 青全交は、私は台風ではないかと思っています。香川同友会のいい意味で澱んでいたものを、この全国大会が予想もつかないほどに大きく激しく揺さぶってくれるというか、とてつもない恩恵をもたらしてくれると受け止めています。そういう意味で、非常に有難い交流会ではないかと思っています。そして、小西代表理事が言っている「新しい景色」が、私は絶対に見られると思っています。

### 同友会会員に向けて

**司会** 最後に同友会の会員に向けてメッセージをお願いします。

**有吉** 私のこの一年を見ていただき。その後、判断していただき、これは駄目だと思ったら本気本音のご意見をください。その覚悟で代表理事としての責務を全うするための努力は惜しまないつもりです。

**司会** どうもありがとうございます。代表理事就任にあたってのインタビューでしたが、代表理事としての有吉さんの強い意志が真つ直ぐ伝わってくるようなお話でした。これからの活躍を期待します。

